「幸せあふれる学校」五十嵐小学校　ＣＳ（コミュニティ・スクール）通信

みらい

令和８年度 第１号
令和８年６月発行
五十嵐小学校学校運営協議会

学校運営協議会を設置した学校をコミュニティ・スクール（CS）と呼びます。
保護者，地域，学校が一体となって子どもの成長を支える体制を築き，「これからの社会をたくましく生き抜く力の育成」を目指した「地域とともにある学校」づくりを進める制度です。（新潟市 HP より）

第１回学校運営協議会が開催されました（令和８年５月８日（金）五十嵐小学校にて）







学校運営協議会委員の紹介（※新任）

会　長　日諸　博美（元小学校長）
副会長　大野　正也（五十嵐小学校ＰＴＡ会長）
　　室崎　泰之（元五十嵐小学校ＰＴＡ会長）
　　南波　豊（五十嵐中学校区青少年育成協議会副会長）※
　　岩沢　孝金（五十嵐小学校区コミュニティ協議会会長）
　　眞島　潤子（五十嵐地区民生委員・児童委員協議会会長）※
　　和田　あづさ（五十嵐小学校区スポーツ振興会理事長）
　　今村　孝（新潟大学工学部　教授）※
　　髙橋　綾子（明美ヶ丘こども園園長）※
　　騰川　登志子（いからしフレンドスクール運営主任）
　　平野　薫（主任児童委員）
　　袖山　洋子（五十嵐ひまわりクラブ第２）※
　　三浦　峰子（五十嵐小学校地域教育コーディネーター）
　　田辺　和明（五十嵐小学校校長）
　　渡部　香世子（五十嵐小学校教頭）※

【ＣＳ事務】長谷部美也子
【ＣＳ事務】山口　彩

【議事】学校運営方針・・・田辺校長より



令和７度第４回ＣＳ会議で令和８年度教育ビジョンが承認されました。「幸せあふれる学校」を目指して，昨年度から「１日１回ありがとう」をキャッチフレーズにして子どもたちにも話しています。これを教育ビジョンに追加しました。今年度も，子ども，職員，地域が，未来に向かって心も体も健康な状態で自分のやりがいをもって，力を発揮できる**「幸せあふれる学校」**を目指していきたいと思います。

新潟市教育振興基本計画～にいがた学びのコンパス～の中で，新潟市の教育が目指す人間像「しなやかに世界と未来を　創る人」が掲げられています。「考える力」「思いやる力」「つながる力」の３つを高めることで，「しなやかな心」を育て，「地域のひと・もの・こと」とかかわりながら，**「未来を創りだす子ども」**を育てていきたいと考えています。

五十嵐小学校学校運営協議会【問い合わせ】五十嵐小学校（教頭）025-269-3117

【議事】教育ビジョンの説明と確認・・・各プロジェクト担当・主任より

教育目標「未来を創りだす子ども」を掲げ，その実現に向かって３つの力を高めることを目指して教育活動を進めていきます。「考える力（学びプロジェクト）」「思いやる力（思いやりプロジェクト）」「つながる力（かかわりプロジェクト）」を具体的にどういう教育活動をしていくかについて説明がありました。



～「１日１回ありがとう」への思い～

令和７年 10 月の全校朝会で，田辺校長が子どもたちに向けて「あいさつ」について話をした際に，「一番大事にしてほしいあいさつは『ありがとう』，１日１回は『ありがとう』を言おう，そして１日１回は『ありがとう』を言われることをしよう！」と話しました。職員室前には職員同士の『ありがとう』のリレーを掲示しています。「しあわせの基盤の中に『感謝』があることを感じているので，みんなで頑張っていこうと追加させてもらいました。」と田辺校長の思いが込められています。



以上の協議内容はすべて承認されました。

【職員と CS 委員との情報交換】「五十嵐の教育を語り合おう」



今年度も職員とＣＳ委員をつなぎ，また委員の方々から学校運営に参画していただきたいという思いから情報交換の場を設けました。五十嵐小学校では，生活科・総合的な学習の時間の単元づくりにおいて，「地域とつながり、地域と学ぶ。そして未来の五十嵐の町づくりに参画する。」という視点を大切にしています。地域からどのような教材や課題が生まれるか，子どもたちがどのように地域と関わっていくか，地域での学習を通して子どもたちにどのような力を育てていくか等について全職員とＣＳ委員が学年ごとの６グループに分かれ，情報交換，意見交換を行いました。

学年	テーマ
１年	生活科
２年	生活科
３年	地域の魅力
４年	環境
５年	福祉
６年	防災





「地域と学校パートナーシップ事業」について・・・地域教育コーディネーターより
「放課後ふれあいスクール」（いからしフレンドスクール）運営について
・・・いからしフレンドスクール運営主任より

上記の２つの事業について，各々の担当者より令和８年度の活動に向けての説明がありました。

【ＣＳ事務員よりひとこと】新年度が始まった際，まだ緊張感がある中で，子どもたちは地域の方に見守られながら登下校をしていました。そして先生方が子どもたちをあたたかく迎えてくださっていました。このような環境は決して当たり前ではないのだなと，保護者の一人としてこのＣＳ会議で更に実感するようになりました。毎回の熟議で心温まる会議になり感謝申し上げます。

CS 事務員　山口　彩